

注目ポイント！

官民一体によるまちづくり型観光地づくりを推進。
文化・暮らし・佇まいや歴史的町並みが育む品格あるまちへ。
おもてなしの心溢れるユニバーサルなまちづくり。
地の利(成田空港から30分)を活かした外国人の誘客。



外国人観光客数が約400人(平成14年度)から約6,000人(平成17年度)に。



小野川沿いの歴史的町並み

コラム

端役から脇役、そして今主役を目指して。

佐原商工会議所会頭自らが佐原の大祭を地域の祭りから観光山車祭りへ転換させた。山車の曳き回しをステージ化することで、見せる(魅せる)祭りへ。様々なイベントで、おもてなしの祭りへ。

現在、市民と行政の協働のまちづくり自体が観光資源として注目されている。



まちづくりの牽引役
小森 孝一氏

これまでの経緯

- 平成 5年(1993) 小野川と町並みを考える会による「町並み形成基本計画」が完成する。
- 平成 6年(1994) 「佐原市歴史的景観条例」を制定する。
- 平成 8年(1996) 「樋橋の落水」が『残したい日本の音風景百選』に、「小野川と町並み」が『重要伝統的建造物群保存地区』に選定される。
- 平成12年(2000) 佐原市中心市街地活性化基本計画策定「水郷の小江戸産業観光で賑わいの再興」。
- 平成13年(2001) 佐原広域交流拠点整備事業を開始する。
- 平成14年(2002) 外国人観光客誘客事業を開始する。遊歩百選に選定される。
- 平成15年(2003) 小野川舟運事業を開始する。まちの情報ステーション(アンテナショップ)を開設する。
- 平成16年(2004) 都市再生フォーラムin佐原開催。佐原の山車行事が国指定重要無形民俗文化財に。
- 平成17年(2005) 小野川周辺の町並が手づくり郷土賞(大賞部門)を受賞する。
ユニバーサルな公共サインを設置する。佐原版心のバリアフリー作法集を作成する。
- 平成18年(2006) 官民一体のまちづくり型観光地づくりにて優秀観光地づくり賞金賞を受賞する。

主な取り組み

町並み保存事業

歴史的町並み保存のための修理修景を推進。
近年は、修景した建物をレストランやギャラリー等に活用。現在まで約120棟の実績があり、この町並みが集客に貢献。

品格ある町並みは、観光山車祭りの山車の曳き回しを引き立て、ステージ化することにも貢献。

今年、美しいまちなみ優秀賞も受賞。



町並み観光案内ボランティアによる案内



おかみさん会のお出迎え

小江戸佐原お散歩バス(バイリンガル)運行

素顔の日本に出会うローカルバスの旅プロジェクトとして、成田空港と佐原の町並みを4ヶ国語対応のバスにより30分で結んでいる。

また、外国人観光客受け入れシステムとして、観光コンシェルジュの設置や観光プロモーションも行っている。(NPO法人コンヴィヴィアル、千葉交通株)

佐原まちぐるみ博物館の運営

佐原おかみさん会が中心となって運営。各家(商家、飲食店等)が自慢の一品(味や技も含む)を展示する。新しい形の生きた博物館で、館長や楽芸員(学芸員)は女将さんやオーナー。滞留時間の延長に貢献。

平成18年7月現在で43店舗が加盟。



おかみさん会の活動風景

広域的観光連携事業(水郷三都)

観光交流空間づくりモデル事業の一環として、佐原・潮来・鹿嶋の水郷三都地域の連携により観光客誘客のための共同プロモーションを実施。

また、PRのため海外マスメディア関係者の招聘ツアーも実施。



取材する海外メディア

問い合わせ先

香取市商工観光課・佐原区商工観光振興課

Tel: 0478-54-1111 <http://www.city.katori.lg.jp>

水郷佐原観光協会

Tel: 0478-52-6675 <http://www15.ocn.ne.jp/~skk/>